

貸 借 対 照 表

2018年3月31日

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	4,334,855,752	【流動負債】	1,778,979,890
現金及び預金	2,642,768,008	買掛金	1,273,844,093
売掛金	1,273,759,014	未払金	85,048,833
前渡金	280,411,004	未払費用	6,652,027
前払費用	3,849,527	未払賞与	78,429,405
未収入金	80,035,846	未払法人税等	1,734,100
繰延税金資産	52,925,409	前受金	295,110,034
立替金	2,379,944	役員賞与引当金	33,618,000
貸倒引当金	△ 1,273,000	預り金	4,543,398
【固定資産】	232,436,983	【固定負債】	59,401,484
(有形固定資産)	21,528,070	預り保証金	46,209,484
建物附属設備	16,441,856	退職給付引当金	13,192,000
工具器具備品	5,086,214		
(無形固定資産)	105,093,428	負債合計	1,838,381,374
ソフトウェア	105,093,428		
(投資その他の資産)	105,815,485	純資産の部	
投資有価証券	815,017	科目	金額
差入保証金	12,393,000	【株主資本】	2,728,941,020
破産更生債権等	5,322,925	資本金	30,000,000
繰延税金資産	92,607,468	資本剰余金	1,587,282,748
貸倒引当金	△ 5,322,925	利益剰余金	1,111,658,272
		利益準備金	7,500,000
		繰越利益剰余金	1,104,158,272
		【評価・換算差額等】	△ 29,659
		その他投資有価証券評価差額金	△ 29,659
		純資産合計	2,728,911,361
資産合計	4,567,292,735	負債・純資産合計	4,567,292,735

個別注記表

自 2017年4月 1日
至 2018年3月31日

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 その他有価証券(時価のないもの)
 移動平均法による原価法を採用しております。
 - (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
 移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)を採用しております。
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産
 定率法を採用しております。
 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
 建物付属設備 12年～15年
 工具、器具及び備品 4年～10年
 - (2) 無形固定資産
 ソフトウェア(自社利用分)
 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金
 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等を、破産更生債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
 - (2) 役員賞与引当金
 役員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。
 - (3) 退職給付引当金
 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。
 なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しております。
4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - (1) 消費税等の会計処理
 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。
 - (2) 連結納税制度の適用
 株式会社バンダイナムコホールディングスを連結親法人とした連結納税制度を適用しております。

(当期純利益金額)

792,925,036円

以上